

公表:令和 7 年 3月 6日

事業所名 向日葵

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	1		・室内に柱があるため活動範囲が限られており一斉の活動が困難な時もあるため、人数等により個々の活動にする等工夫が必要。・コンパクトで建物の構造上外せない設置物もあること、個人や小集団を丁寧に支援していることから、利用児童数にも気を配り運営している。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	3	1		・児童の利用人員によっては、現場として不足していると感じる時がある。・今後、利用児童の実態変化によっては職員数を速やかに増やす必要がある。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	3	1		・室内での段差等あるが工夫して行っており、職員がすぐにサポートにいけるように見ようとしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	4			・清潔の保持に努めており、心地よく過ごせるように障がい状況に応じた環境づくりに努めている。

業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		1	・法人内で職員会議や専門職会議を通じて、業務改善を行っている。 ・運営初年度の為、特に行事後は次年度の為ミーティングで全員で振り返りを行えている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1		・初年度で行われてはいないが、年度内に実施し、改善点を協議していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	3		・初年度で行われてはいないが、年度内に実施し、改善点を協議していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	3		・初年度で行われてはいないが、今後実施に向けて検討予定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・適宜、内部研修会を実施し資質の向上に努めており、外部研修会（自立支援協議会等）に参加した際は職員間で情報の共有を行っている。	・職員それぞれの家庭の都合もあり、全員があこの研修への参加は難しいが受けられる研修の情報共有は行っている。 ・児発連等今後、機会を増やしていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・事業内での会議や保護者への意見聴取を行っており、課題の共有化と目標や支援計画についても、関係者で協議し作成し実施している。 ・児発管をリーダーにしなが保育士や児童指導員もこまめに情報共有を行い、アセスメントと計画作成ができるよう努められている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2			・基本的なADLの把握に努めるフォームを使用しているが、発達検査等のアセスメントツールは実施していないが今後、導入を検討していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			・児童発達支援ガイドラインに基づき、5領域支援等きめ細かく支援が行えるように記載して行っている。家族支援、地域支援においても支援内容を網羅し行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1		・支援計画に沿うように日々のミーティングで支援目標等を確認し行っている。 ・支援計画と近々の児童の状況を考えて支援している。	

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	・活動プログラムの立案については、毎月の会議で検討し立案を行っている	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・季節に応じたプログラム構成を実施し、工夫を行っている。	・ルームでの支援の療育道具を増やしたい。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			・個別活動並びに集団活動においては、利用者の特性に配慮しながら支援を行っている。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		・日々のミーティングにおいて、支援の内容等の確認を行っている。・都度、打合せ振り返りを行い記録に残している。	・今後はパソコンやタブレット等共有できる(使いやすい)端末が増えると随時共有が可能になると思われる。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1	・支援終了後に職員間での気づきや振り返りを行い共有している。	・送迎や業務によって共有の時間を作るのが難しい。・全体で共有する時間が取りづらく個別になってしまっている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・支援経過記録を日々記載するとともに、毎月の会議等で振り返りや評価を行っている。	・今後徹底する必要がある。・今後はパソコンやタブレット等共有できる(使いやすい)端末が増えると随時共有が可能になると思われる。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・毎月モニタリングを実施しその結果を職員間で共有し行い、プランの更新の際も本児の状況変化等に対応し見直しを行っている。・児発管をリーダーにして、計画見直し時期と内容の見直しを意識することが出来ている。	・今後はパソコンやタブレット等共有できる(使いやすい)端末が増えると随時共有が可能になると思われる。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	1		・障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議の開催がない。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	3	2		・今後、関係機関と密接に連携を行いたい。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		2	4		・医療的ケア児等受け入れの為の体制整備等を含めて実施には至っていない。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		2	4		・医療的ケア児等受け入れの為の体制整備等を含めて実施には至っていない。

関係機関や保護者

者との連携関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	2	3		・実績としては対象児童がいないため実施していないが、今後対象児童が出てきた際は保護者の意向を受けて実施したい。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		2	4		・対象児童が令和7年度から複数名利用していることになるため、今後より行われることになる予定である。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1		・自立支援協議会の研修会等に参加し意見交換を行っている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	・利用者が保育園や幼稚園を利用し活動されている他、社会資源（公園、地域のイベント等に参加）を活用し交流を行っている。	

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3		・自立支援協議会の会員であり、適宜、会議や研修会に参加している。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・日々の療育の状況を口頭でお伝えしながら、共有している。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2	2		・個別の相談に対しての助言等を行っているが、現状、ペアレントトレーニングを実施するまでは至っていない。今後、検討を要する。
	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・ご契約時に説明を行いました承頂いている。	
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1		・ガイドラインに基づき個別支援計画を作成しクライアントの主訴を反映した個別支援計画を立案とクライアントへ説明し同意を得て交付している。	
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・適宜、事業所内にて保護者からの相談を行っており、専門職の知見を通じて必要な助言等を行っている。	
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	3	・行事では保護者の方に参加してもらっている。もう少し回数を増やしたり関わり連携を支援できる工夫を考えていきたい。	・保護者が参加できる行事にて、保護者間で顔の見える関係づくりは行っているが、現状、父母の会などの活動には至っていない。
保護者への...	㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・適宜必要に応じて相談等対応をおこなっている。また、ご意見等については契約時に対応体制等を説明している。	

説明責任等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月、広報誌で活動状況並びに行事予定等、保護者へ報告等を行っている。	
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1		・法並びに個人情報マニュアルに基づき適切に情報の管理を行っている。	
	㉒	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				・利用者との意思疎通については、保護者等と相談しながら、適切なコミュニケーションを心がけている。
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			・施設行事の際に地域の方が来訪して頂くなど工夫して行っている。・夏祭りでは地域の方々をご招待できた。	
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1		・各種マニュアルを整備し、職員へは会議等を通じて周知している。また保護者に対しては次年度「安全計画」を配布し周知する予定。	
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・年度計画に基づき、訓練等を行っている。・災害についての訓練の回数を増やし職員の動きの確認をする。・児童との訓練も実施できている。	
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのものの状況を確認しているか	6			・利用者の状況については、初回面談時に保護者から必要な情報を聞き取るとともに、職員にも情報共有を行っている。・送迎時や連絡ノートを通じて把握出来ている。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	1	1	・保護者からのアセスメント時において、アレルギー等のヒアリングを行っている。ただし、現状においては医師からの指示書に基づくケースはないので今後そのような場合は関係職員等と対応協議しながら対応する。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・ヒヤリハットのケースが発生した際は、速やかにその状況と改善策を記録している。また、その評価については職員会議にて分析等を行っている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・研修計画に則り定期的に事業所内で虐待防止研修を行うとともに、外部研修参加時においても職員会議にて情報共有を行い虐待防止の醸成に努めている。・安全確保や危険予測学習中の児童の対応のため、児童に触れたり注意をしたりすることはあるが、それが虐待や身体拘束へと結びつくことがないよう、事業所内研修や職員間での情報交換で、常に留意し努めている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1		・身体拘束等適正化検討委員会マニュアルを作成し対応している。ただし、現状は身体拘束に該当する事案は無いため今後、そのような事案があった場合はマニュアルに基づき組織的に対応していく。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 7 年 3 月 6 日

事業所名 向日葵(ひまわり)

保護者等数(児童数)9人

回収数 9人

割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1		1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			1		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			3		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			1		
適切な支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			1		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3		5		
保護者への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	9					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	2	1	2		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	9					

	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	1			
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1		2		
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9					
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9					
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	9					
非常時の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7			2		
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			4		
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	9					

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。